

五十二歳からの挑戦(ラ・カンパネラ)

映画『ラ・カンパネラ』は、佐賀市で海苔漁に携わる一人の男性の実話を描いています。

ある日、彼はピアニストの藤子へミングさんが奏でる「ラ・カンパネラ」を耳にし、「魂を揺さぶられる瞬間」に出会いました。その一曲が心に火を灯し、「自分もこの曲を弾きたい」という強い願いが生まれます。

作曲家フランツ・リストによるこの作品は、超絶技巧で知られる難曲です。それでも彼は五十二歳から鍵盤に向かい、海苔漁の仕事を続けながら「七年間、毎日十時間」の練習を積み重ねました。ただ一人の演奏家に聴いてもらいたいという思いを胸に。

やがてテレビ番組で本人の前で披露する機会を得ます。その音色は称賛を受け、多くの人の胸を打ちました。**人生には進む道を変える出会い**があります。心が震えたなら、「ためらわず挑む勇氣」を持ちたいものです。

今日の言霊：情熱は道を拓く

この物語の核心は、**年齢や経験の有無が挑戦を止める理由にはならない**という点にあります。

五十代から鍵盤に向かった事実は、**可能性は常に開かれている**ことを示しています。しかも仕事を続けながら



から長期間努力を継続した姿勢は、**才能以上に継続力が成果を生む**ことを教えてくれます。難曲に挑む選択は無謀に見えるかもしれませんが、強い動機が人を支えます。また、目標を具体的に定めたことが成長を加速させました。**誰かに届けたいという思いは、練習の質を高め**ます。**感動する出来事に出会ったとき、行動に移すかどうかで未来は変わります**。中学・高校生の皆さんにも、**自分の心が動いた瞬間を大切に**してほしいのです。

【今回の学び】⇒続ける力が夢を形にする！

五十二歳からの挑戦(ラ・カンパネラ)

映画『ラ・カンパネラ』は、佐賀市で海苔漁に携わる一人の男性の実話を描いています。

ある日、彼はピアニストの藤子へミングさんが奏でる「ラ・カンパネラ」を耳にし、「魂を揺さぶられる瞬間」に出会いました。その一曲が心に火を灯し、「自分もこの曲を弾きたい」という強い願いが生まれます。

作曲家フランツ・リストによるこの作品は、超絶技巧で知られる難曲です。それでも彼は五十二歳から鍵盤に向かい、海苔漁の仕事を続けながら「七年間、毎日十時間」の練習を積み重ねました。ただ一人の演奏家に聴いてもらいたいという思いを胸に。

やがてテレビ番組で本人の前で披露する機会を得ます。その音色は称賛を受け、多くの人の胸を打ちました。

人生には進む道を変える出会いがあります。心が震えたなら、「ためらわず挑む勇氣」を持ちたいものです。

今日の言霊：情熱は道を拓く

★問一(漢字・語句) 文中の「称賛」の意味として、最も適切なものを選びなさい。

- ア 批判すること
- イ 無視すること
- ウ ほめたたえること
- エ 疑うこと

★問二(選択) 男性がピアノに挑戦しようと決意したきっかけは何か。

- ア テレビに出演したかったから
- イ 藤子へミングさんの演奏に心を動かされたから
- ウ 家族に勧められたから
- エ 仕事を辞めたかったから

★問三(選択) 本文の内容として正しいものはどれか。

- ア 男性は仕事を辞めて練習に専念した
- イ 男性は若い頃からピアノを学んでいた
- ウ 男性は五十二歳から練習を始めた
- エ 男性は七か月で曲を完成させた

★問四(選択) 本文から読み取れる男性の姿勢として、最も適切なものはどれか。

- ア 困難なことは避ける姿勢
- イ 結果よりも過程を軽視する姿勢
- ウ 情熱を持って努力を続ける姿勢
- エ 周囲の評価だけを求める姿勢

★問五(記述) 本文を踏まえて、「情熱は道を拓く」とはどういうことか説明しなさい。(40字程度)

模範解答・解説

★問一 模範解答 ウ

○解説④ 「称賛」は、優れた行いや成果をほめたたえることを意味する。本文では、男性の演奏が多くの人々の心を打ち、評価された場面で使われている。

★問二 模範解答 イ

○解説④ 藤子へミシングさんの演奏を聴き、「魂を揺さぶられる瞬間」に出会ったことが挑戦の出発点である。心が動いたことが決意の理由である。

★問三 模範解答 ウ

○解説④ 本文には、五十二歳から鍵盤に向かったと明記されている。仕事を続けながら七年間努力した点も重要な内容である。

★問四 模範解答 ウ

○解説④ 超絶技巧の難曲にもかかわらず、七年間毎日十時間練習を続けたことから、強い情熱と継続する努力の姿勢が読み取れる。

★問五(記述) 模範解答(例)

強い思いを持って努力を続ければ、困難な道も切り拓けるという
こと。

○解説④ 本文は、心が震える出会いをきっかけに情熱を持ち続けたことで道が開けたことを示している。情熱と継続の関係を押さえて
まよひな。

この物語の核心は、**年齢や経験の有無が挑戦を止める理由にはならない**という点にあります。

五十代から鍵盤に向かった事実は、**可能性は常に開かれていること**を示しています。しかも仕事を続けなが



ら長期間努力を継続した姿勢は、**才能以上に継続力が成果を生むことを**教えてくれます。難曲に挑む選択は無謀に見えるかもしれませんが、強い動機が人を支えます。また、目標を具体的に定めたことが成長を加速させました。**誰かに届けたいという思いは、練習の質を高め**ます。**感動する出来事に出会ったとき、行動に移すかどうかで未来は変わります**。中学・高校生の皆さんにも、**自分の心が動いた瞬間を大切に**してほしいのです。

【今回の学び】⇒続ける力が夢を形にする！